



# 勝浦小学校 学校だより

## MARUKATSU COMMUNITY SCHOOL



勝浦小HP QRコード



# 3月号

令和6年3月22日  
福津市立勝浦小学校  
校長 原 尻 敏 広

## 令和5年度 1年間ありがとうございました。

本日、令和5年度の修了式を行いました。先日3月14日に卒業した6年生11名を含む、74名の児童全員が1年間の学校生活をやり遂げました。毎日の授業や行事をはじめ、校外での体験学習や家庭学習など、様々な場面で、保護者の皆様にはご理解、ご協力をいただきました。ありがとうございました。

4月の学年はじめに撮影した子供たちの写真を見返すと、体はもちろん、心も大きく成長したことを感じます。この1年間、学校では、子供たちの自己有用感や認め合う心の成長をめざしてきました。クラスの中で互いに思いを寄せ合う姿や、他学年、特に低学年に対し、困っていたら声をかける、どうしていいかわからないようだったら、横について教える。そのような姿を数多く見かけました。

1年間過ごしていく中で、保護者や地域の皆さんと共に、子供たちを育ててきた勝浦小学校だからこそ、このような姿の子供たちが育っているのだと実感しました。

令和5年度の1年間、学校教育へのご理解、ご協力本当にありがとうございました。

## 3月14日 卒業式 ～11名の卒業生が旅立ちました～

この1年、勝浦小学校のリーダーとして大活躍をした6年生11名が、立派な姿で卒業しました。式の後には、おやじの会の皆さんから準備していただいた風船を、青空に飛ばしました。高く飛び立った風船のように、卒業生の皆さんが、希望に向かい大きく羽ばたいていくことを祈念します。



## 令和6年度に向けたお願い

本年度5月に、数年続いたコロナ感染症による様々な制限が緩和されました。制限がなかった頃は、保護者の皆さんに参加いただく数多くのイベント等があったと聞いています。来年度に向け、子供たちが、地域の中で、地域のことを、地域の方々と学ぶ勝浦小学校ならではの教育活動を学校でも構想しています。すべてを過去の通りに戻すことがベストではないと考えていますが、子供たちの学校生活の様子を気軽に参観、参加いただけるような体制を考えていきたいと思ひます。

詳しい内容については、新学期になり、改めてお伝えしていきたいと考えています。PTA活動を始め、おやじの会や、マル勝サポーターとしての関わりなど、お願いをさせていただきながらも、学校、地域、そして保護者の皆さんと共に過ごす場を考えていきます。また、ご意見をいただく機会も必要だと考えています。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

### 令和6年度の予定

始業式・赴任式	4月8日(月)	
入学式準備	4月10日(水)	※新5,6年生はお弁当の準備をお願いします
入学式	4月11日(木)	※新6年生、新2年生が参加します ※新入生は4月17日まで 11:30下校(給食なし)
給食開始	4月12日(金)	※新2年生～新6年生の給食が始まります
新1年生給食開始	4月18日(木)	
新6年全国学力テスト	4月18日(木)	
避難訓練(火災避難)	4月19日(金)	
学習参観・懇談・PTA総会	4月20日(土)	※代休 5月7日(火)
歓迎集会・歓迎遠足	4月26日(金)	※お弁当の準備をお願いします。

現時点での予定ですので、変更する場合があります。4月のお便りを改めてご覧ください。

## 令和6年度教育活動の方針について

2月末に開催した学校運営協議会において、来年度(令和6年度)の学校教育の方針を提案しました。方針の骨格は、これまで、この学校だよりで紹介してきた内容となっています。すなわち、子供は教えられる内容を覚え、覚えたことができるようになることを目的とするのではなく、自分のやってみたいこと(目標)や自分がやるべきこと(課題)を自分なりに考え、見つけ出し、その達成や解決に向け、自分の力で学びを計画・実行できるようになることを目的としています。

自分で目標を決め、その達成に向けて計画を立てることは、とてもレベルの高い作業だと思います。いきなり、そのようなことができるようになることはありません。そのためには、基本的な学習や基盤となるものの考え方、さらには、他者との関わり方や意見の伝え方などをしっかり身に付けることが大切だと考えています。子供たちは、一人一人知っていること、経験したこと、興味も異なります。得意なこと異なります。できる限り、一人一人の現在の状況に合わせて、身に付けるべきことややってみたいことを大人が見つけてあげられるようにしたいと思っています。

学校で話を聞いたり、考えたりする時間を設け、そこで見出したことを、保護者の皆さんと共有できるようにしていきたいと考えています。

右に示す図のように、学んで終わりではなく、学んだことを生かすことができる子どもを育てていくために、まずは、しっかりと教師が、大人が関わり、教えたり支えたりしながら、次第に、自分自身で考え、創り出すことができる力を育てていきたいと思っています。そのために、地域の皆さんに体験の場を提供していただくこと、保護者の皆さんに協力していただくこともあります。来年度も是非、ご理解、ご協力をお願いします。

学んだことを社会で活用できる子ども  
～やってみたいこと やってみよう きっとわくわくする～

すぐする 自分でする 一生懸命する

